

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和5年8月8日

評価対象事業		評価者	契約検査課担当課長 松下 統	
総務-22	検査事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	契約検査課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	事業者(工事等施工業者)
意図	工事目的物等が設計図書に定められた出来形や品質を満足しているか、完了の確認をするため。
効果	公共工事等の質の向上を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・工事担当課の依頼により、工事目的物又は委託業務の成果物が設計図書に定められた出来形や品質等を満足しているか給付の確認を行うとともに、検査時の指導を通じて工事等の適正な施工の確保と技術水準の向上を図った。 ・工事について、中間技術検査や随時検査(抜き打ち検査)を行い、監視体制の強化を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	工事等完了確認事務	工事等において、完了検査を行った。	-	- / 0	- / 0	- / 0	
02	工事等の検査事務	工事について、中間技術検査等を行った。	-	- / 0	- / 0	- / 0	
03	一般事務経費	共通経費	-	- / 64	- / 87	- / 87	
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	/	/	/	
			地方債	/	/	/	
			その他特定財源	/	/	/	
			一般財源	64 /	87 /	87 /	87
			事業費の合計(千円)	64 /	87 /	87 /	87
		人件費(千円)		19,750 /	20,262 /	20,262	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.5	2.6	2.6	2.6		
会計年度任用職員	0	0	0	0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	工事等完了確認事務	実施が義務付けられており(法定受託事務等)、指標設定はなじまない。	上位政策の貢献度ををはかることはなじまない	-
02	工事等の検査事務	実施が義務付けられており(法定受託事務等)、指標設定はなじまない。	上位政策の貢献度ををはかることはなじまない	-
03	一般事務経費	-	-	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位政策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>今年度においても、工事担当課の依頼により、工事目的物又は委託業務の成果物が設計図書に定められた出来形や品質等を満足しているか給付の確認を行うとともに、検査時の指導を通じて工事等の適正な施工の確保と技術水準の向上を図ると共に、中間技術検査や随時検査(抜き打ち検査)を行い、監視体制の強化を図る。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	中間技術検査の実施							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	秦野市	伊勢原市	
他市実績	○	×	×	○	○	×	○	

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--